

活動状況報告書（1月分）

スポーツコース 佐藤 優

年が明けて1月9日に日本を離れ、ニュージーランド・ワイカト州ハミルトンに着きました。ハミルトンは、北島北中央部ワイカト地方に位置して、ニュージーランドで4番目に大きい都市になります。南半球に移動したので、今は夏となり、北海道とは真逆の季節を過ごしております。ハミルトンでは、先住民マオリの村があった地域なので、マオリの文化にも触れることができると思います。

1月は、語学学校も、所属予定のチームの活動もまだ始まっていません。この時期に来た理由としては、ハミルトンを拠点にする、ニュージーランドのプロラグビーチーム“CHIEFS Manawa（以下、Manawa）”のトレーニングの様子を見学することが出来るからです。Manawaは、3月から始まるスーパーラグビー・アウピキという大会に参戦するため、プレシーズンが始まりました。Manawaには、ニュージーランド代表として活躍する選手も多く在籍しており、世界トップクラスの選手たちの練習風景を目の当たりにしていました。

選手からもお話を伺わせて頂ける機会があり、プロ選手としての意識の高さや、ニュージーランドラグビーの組織が充実している様子を痛感しました。そして、ニュージーランド代表がワールドカップやWXVなど様々な世界大会で成績を残してきた背景には、スーパーラグビーをはじめ、ニュージーランド代表選手の育成のシステムなど、選手がトレーニングに打ち込むことができる環境が整っていることが出来ました。

そんな、ラグビー大国であるニュージーランドでも女子のプロラグビーチームができたのは最近の話ではありますが、日本国内で活躍する選手の活動環境や、生活スタイルとは大きな違いを感じました。ここまでは、プロチームの様子を見たので、今後の留学期間には、クラブとしての組織や、選手の様子も伺っていきたくと思っています。

